

北九州市立枝光台中学校

# えだみつだい

校長 戸次 健治

## 【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

## 【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

## 生徒総会が開かれました



先月29日に生徒総会が開催されました。生徒会執行部を中心に準備を行いました。今年度の生徒会のテーマは「Infinity ~掴み取れ 新しい可能性を~」です。「Infinity」とは「無限大」という意味があり、枝光台の生徒全員が自分の可能性を信じて突き進んでほしいという願いが込められています。29日の総会本番までに各学級で各委員会の取組についての討議や学校への要望等の話し合いが行われました。総会では生徒会会长から「総会は私たち生徒が学校生活をよりよくするための大切な機会です。皆さんの提案や意見を共有して、ともに考えることで枝光台中学校をもっと素晴らしい学校にできる信じています」との話があり、活発に討議が行われました。執行部から提案された各専門委員会の今年度の活動は了承されました。また、学校への要望として「故障している冷水器を新しくしてほしい」等の要望が出されました。



生徒総会では生徒同士の討議を通じて互いの良さを認めつつ、集団での活動に必要なことを感じてもらえばと思います。また、自主的、実践的な活動を通じてより良い集団（学校）や人間関係になればこの生徒総会を行った意義もまた一つ深まると思います。

## パラリンピック選手、オリンピック選手の話から

先日、本校で車いすテニスでリオデジャネイロパラリンピックに出場された二條実穂さんの講演会が開かれました。「夢の力」をテーマに話をされ「比べるのは誰かではなく過去の自分」「夢を言葉にする」等の話をされ、夢を持つことの大切さを生徒に話をいただきました。

また、私（戸次）は先月オリンピックの体操で圧倒的な強さを見せた内村航平さんの講演を聞くことができました。内村さんは「やり続けることの大切さ」の話をされました。3歳で体操に出会い、小中学生の時には毎日夕方5時から夜の10時まで毎日5時間の練習をされたことや高校に入ってからは、基礎的な練習だけを「おもしろくない」と思いながらも一年間毎日やり続けたことの話をされました。内村さんの話で自分から「努力をしている」「がんばっている」と言ってアピールしているうちは努力ではない。周囲の人が「よくそこまでやれるね」「すごくがんばっているね」と言われて初めて努力をしていることになる。との話が大変印象に残りました。二條さんや内村さんのようにすぐにはなれないものですが、参考になる話を聞くことができました。